



JICHI MEDICAL UNIVERSITY
SAITAMA MEDICAL CENTER
自治医科大学

さいたま医療センターだより

TEL.048-647-2111 FAX.048-648-5180 URL : <http://www.jichi.ac.jp/center>



(山梨県 富士河口湖町)

センターだより 第43号 ご案内

- 好酸球が関わる耳、鼻の病気 (耳鼻咽喉科 教授 吉田 尚弘)
- スタッフ紹介 (救急看護認定看護師 飯塚 繁法)
- 薬よもやま話・・・第1回 「薬の歴史」
- お知らせ・・・感染制御室からのお知らせ
外来駐車場の運用変更のお知らせ／脳ドック室からのお知らせ

さいたま医療センター 理念・基本方針

理念

1. 患者中心の医療
2. 安全で質の高い医療
3. 地域に根ざした医療
4. 心豊かな医療人の育成

基本方針

1. 患者の皆様を尊重し、開かれた安心できる医療を提供します
2. チーム医療を推進し、安全で質の高い医療を提供します
3. 地域との連携を深め、基幹病院としての役割を果たします
4. 地域医療に貢献する医療人を育成します



好酸球が関わる耳、鼻の病気

耳鼻咽喉科 教授 吉田 尚弘

「好酸球」は現代のなかなか治りにくい病気に関わる白血球の一つです。

からだの免疫、防御機能に働く白血球には、好中球、好酸球、好塩基球、リンパ球、単球など5種類があります。細菌感染には好中球が、ウイルス感染などではリンパ球が増えて細菌やウイルスと戦います。一方、好酸球は、白血球のうち2から5%を占めるに過ぎませんが、アレルギー疾患で増え、炎症を起こしているところに集まることからその働きが注目されています。近年、好酸球が血液中に増え、また鼻腔、副鼻腔、中耳腔の粘膜、貯留液などに血管を飛び出してきた好酸球が集まり鼻づまり、嗅覚障害、耳だれ、難聴などをおこす方が増えています。好酸球が関与している‘現代病’というべき代表的な耳、鼻の病気のいくつかを紹介します。

アレルギー性鼻炎

今年もスギ花粉によるアレルギー性鼻炎（花粉症）に悩まされた方も多いと思います。現在では、国民の4人に1人はスギ花粉症といわれます。くしゃみ、鼻みず、鼻づまりが特徴的な症状です。スギ以外にも、ヒノキ、カモガヤ、ブタクサなどの花粉やハウスダスト、ダニなどがアレルギー性鼻炎の原因となる抗原（アレルゲン）となります。抗原に対して抗体が作られると鼻の粘膜の中にある肥満細胞の表面に抗体がついてスタンバイの状態になります。そこへ鼻から抗原が入ってくると抗体と結合して、ヒスタミンという物質を肥満細胞の中から出してアレルギー性鼻炎の症状を引き起こします。好酸球はこの肥満細胞のヒスタミンを出すあたりに関わり、アレルギー性鼻炎では鼻みずに増加することが多いのです。

治療は、抗アレルギー薬の内服や副腎皮質ステロイドの点鼻をします。抗アレルギー薬服用による眠気も最近は少なくなってきました。しかし、鼻づまりが強い、鼻みずの多い人では、鼻粘膜の切除（粘膜下鼻甲介切除）、くしゃみ、鼻みずの神経を切断する手術（後鼻神経切断術）が長期的にも有効です。

好酸球性副鼻腔炎

慢性副鼻腔炎の約3割は、最近「好酸球性副鼻腔炎」という新たなタイプになってきました。以前の、黄色い鼻みず、後鼻漏、頬部痛、鼻閉といった副鼻腔炎いわゆる『蓄膿症』の症状とは異なり、この好酸球性副鼻腔炎は、においがわからない（嗅覚障害）あるいはやや粘稠な鼻みずで気づかれることが多いのが特徴で近年増えてきています。いまや昔の‘青っぱな’のこどもの副鼻腔炎とは異なる大人の副鼻腔炎が増えてきたのです。副鼻腔粘膜、鼻ポリープには好酸

球が多く見られ、においを感じる細胞のある鼻腔の上方の粘膜が腫れやすくなります。鼻腔の下方は空気が通るため鼻づまりはあまり感じません。気管支喘息のある方がなりやすいので注意します。鼻づまり、嗅覚障害の強い方には、鼻の中から内視鏡で観察しながら手術を行い術後も丁寧な局所治療をすると良いです。

好酸球性中耳炎

トンネルに入ったり、飛行機にのったとき耳がツーンとして耳がふさがった感じがするときがあります。こんな時につばを飲み込んだりすると鼓膜の奥の中耳と鼻をつなぐ耳管が開き、中耳の圧が調整され違和感がとれます。ところが、中耳に粘稠な好酸球のみられる液がたまって鼓膜を覆い耳管が閉じてしまうと聞こえにくくなる人がいます。この症状は「好酸球性中耳炎」と呼ばれ、痛みが出ないので気づきにくいのですが副鼻腔炎や大人になって発症した気管支喘息のある人には要注意です。炎症を放置すると、粘膜にポリープができたり、音を感じるセンサーのある内耳の細胞がダメージを受けて聴力が失われてしまうこともあります。好酸球性中耳炎は根治が難しいものの、早期治療で聴力の低下を防ぐことができます。大人になってから気管支喘息になった方で、耳が遠くなった、かゆい耳だれなどの症状がある人は、耳鼻咽喉科の診察を受けることをおすすめします。

皆さんの血液中の好酸球数はどうでしょうか。採血することがありましたら白血球の数だけでなく好酸球の割合をちょっと見てみてください。

がんばってます!

スタッフ紹介

救急看護認定看護師 飯塚 繁法

私は、救急医療現場で迅速な判断を行い、「命を救う」ためのケアを行う看護師です。救急外来に受診される患者さん・救急病棟に入院される患者さんに対し、医師・看護師や診療放射線技師・薬剤師などと協力して質の高い救急医療が提供できるように活動しています。また、予期せぬ急変から患者さんを守り、重篤な状態になる前に対応することが重要と考えています。

今回は、救急外来でのトリアージについて御紹介致します。

知っていますか?トリアージ

トリアージの語源triage〔トゥリアージュ〕は、選別することの意味でフランス革命時代に、フランス軍の衛生隊が傷病兵を戦地に戻すか、医療施設へ送るかを即座に判断・選別したことに由来しています。また、コーヒー豆を選別するという語源があります。

日本では、阪神淡路大震災や東日本大震災などの災害時のトリアージがよく知られています。



救急外来でのトリアージ

救急外来でのトリアージは、JTASという基準を活用し、緊急度（患者さんの状態がどれほど緊急を要するか。）を迅速に判断し、的確に対応することを目的としています。

救急外来のトリアージって・・・

- ◆救急外来を安心して受診できるためのシステムです。
- ◆受付・来院した順番ではなく、緊急度が高いと判断された順で診察を行います。
- ◆他に待っている患者さんがいない場合は、問診の後に診察を行います。
- ◆トリアージにより患者さんの把握ができるため、安心して待ち時間を過ごせます。
- ◆待つ時間が長い場合は、一定の時間ごとに看護師が伺います。
- ◆緊急度が低いと判断されても、調子が悪いときはお気軽に声をかけてください。

レベル1 - 蘇生レベル
レベル2 - 緊急
レベル3 - 準緊急
レベル4 - 低緊急
レベル5 - 非緊急

JTAS (Japan Triage and Acuity Scale)

- カナダで、10年ほどの運用実績を有するCTAS (Canadian Triage and Acuity Scale) を日本版に改変した「緊急度判定支援システム」
- 全国の救命救急センターやERの60%がJTASを導入しています。

当院の救急外来では、救急外来を受診されますみなさんが、安心して受診できるようにトリアージを行っています。



～自宅でできるトリアージ～ 脳卒中をみつける!

◆ 3つの項目でチェックできます。

① 顔

歯を見せる、あるいは笑う。

正常：顔の両側が同様に動く。

異常：左右で違いがある。



② 腕

目を閉じて、両うでをまっすぐ10秒間上げる。

正常：両方が同じ位、上がる。

異常：片方が挙がらない。



③ 言葉

例えば・・・「るりもはりも照らせば光る」

正常：正しい言葉をはっきり話す。

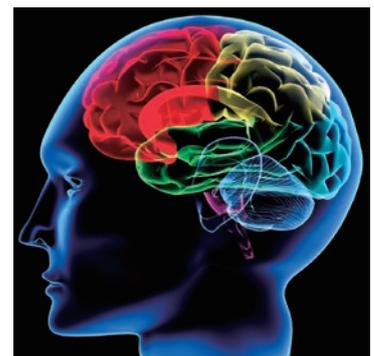
異常：はっきり言えない、間違っている。あるいは話すことができない。



◆ 1つでも症状があれば、脳卒中の可能性は72%

◆ 3つの症状があれば、脳卒中の可能性は85%以上・・・とされています。

脳卒中は、脳梗塞・脳出血・クモ膜下出血などが代表的です。発症から救急通報までの時間が長ければ、治療のチャンスを失うこともあります。救命や後遺症の軽減のためにも早期発見がとて大切です!





— 薬の歴史 —

第1回

薬剤部
大塚 潔

皆さんは、外食されることもあると思います。定食屋さんで、メニューをみて物を頼むわけですが、例えば、アジフライ定食を注文したのに、ハンバーグ定食が目の前に現れたら、どんな気持ちになりますか？恐らくほとんどの方が、異議を唱えることと思います。では病院で、血圧を下げるお薬が処方されるところを、コレステロールを下げる薬が処方されたらどうでしょう。ほとんどの方が疑わずに飲んでしまうかもしれません。ではなぜこのような事が起きるのでしょうか。食事は自ら進んで行うが、薬を飲むことは、しかたなく行っていることだから。食事は見た目ですぐに判断がつくが、薬はわかりづらいから等。たくさんの理由があると思います。当然、そのような間違いが起きないように、我々薬剤師は日々細心の注意を払いながら仕事をしているわけです。食事も薬も双方とも口から入るものです。薬に対する興味を持っていただくことを目的に、様々な観点から薬についての話題を皆様に、提供してゆければと思っています。またこれを通じて私も勉強できればと思っています。

今回は、薬の歴史をひも解いてみたいと思います。

日本人は、薬とどう付き合ってきたのでしょうか。奈良時代から薬の有用性は知られていましたが、庶民が薬を使えるようになったのは、江戸時代になってからと言われています。「この印籠（いんろう）が目に入らぬか、ひかえい、頭が高い」といえば、おなじみの水戸黄門のクライマックス・シーンです。徳川家の葵（あおい）の紋所（もんどころ）をしるした印籠は、実は薬入れだということをご存じでしょうか。江戸時代の武士たちは、薬を持ち歩くときの容器として、印籠を使っていました。現代でいえば、ピル・ケースということになります。

ところで、水戸黄門といえば、薬には少なからぬ縁があります。水戸徳川家の藩主、黄門様こと光圀公（みつくにこう）は、藩医に命じて『救民妙薬（きゅうみんみょうやく）』（1693年）という薬の本を作らせました。これは庶民を対象に、身近な薬草の利用法や日常の健康法などをまとめたもので、薬を入手することができなかつたり、医師の治療を受けることができなかつたりする庶民が、自分で薬を調合できるようにするためのノウハウ本です。誰もが理解しやすいように、平易な言葉で書かれ、江戸時代のみならず明治・大正まで続くロング・セラーとなりました。光圀公は大名ですから、実際にはテレビや映画のように気楽に諸国を漫遊（まんゆう）することはできなかったのですが、光圀公が作らせた『救民妙薬』は、黄門様の代わりに全国各地で読まれ、病気の人たちを助けることになりました。たとえば、現在でもかぜ薬として知られる葛根湯（かっこんとう）は、発汗・解熱（げねつ）作用のある葛（くず）の根を主体に、麻黄（まおう）、大棗（たいそう）、桂枝（けいし）などを調合したものです。このような現在では漢方薬と呼ばれている薬の多くが、当時の医療用医薬品だったのです。

自家薬籠中の物（じかやくろうちゅうのもの）これは、唐の儒学者である元澹（げんたん）が首相の狄仁傑（てきじんけつ）に「ご使用になっている薬の一つに、私を加えてお使いになって下さい」と言ったところ、狄仁傑は「君はすでに私の薬籠中のもので、欠かせない人だ」と言ったという『唐書・儒学下・元澹伝』にある中国の故事に基づくことわざです。「自家」とは自分、「薬籠」とは薬箱のことです。意味としては、自分の薬箱に入れてある薬品のように、いつでも自分の思うままに使えるものということから、いつでも自分の思う通りに利用できる人や物のたとえ。また、自在に使いこなせるくらいに身に付いた知識や技術のたとえです。古くは「必要な人」という意味で使われていましたが、現在では、「自分が習得した知識や技術」という意味で使われているようです。



お知らせ

感染制御室からのお知らせ

厚生労働省は2月に厚生科学審議会 感染症部会 蚊媒介性感染症に関する小委員会を開催し、「蚊媒介感染症に関する特定感染症予防指針（案）」の最終案を策定しました。昨夏、約70年ぶりに国内感染が認められたデング熱等蚊が媒介する感染症の予防対策を推進するための指針です。指針はパブリックコメントを実施して4月中の告示・適用を目指す方針だそうです。指針には平時の対策として国民に対して一般的な予防方法の普及が上げられています。そこで前回のさいたま医療センターだよりで説明したデング熱に引き続き蚊が媒介する感染症について考えてみましょう。

1. 蚊が媒介する感染症と国内流行の可能性

デング熱、チクングニア熱は日本国内に広く分布するヒトスジシマカが媒介するため海外で感染した人から国内で感染が拡大する可能性が常に存在します。マラリアは媒介蚊であるハマダラカが国内の人口密集地帯には生息していない、また、ウエストナイル熱は発症している人の血中におけるウイルス量が少なく、媒介蚊のみを介した人から人への感染環が成立しないことから国内感染が発生する可能性は低いとされています。日本脳炎は効果的なワクチンが既に実施されていることから国内で感染が拡大する可能性は低いとされています。



ヒトスジシマカの写真
国立感染症研究所昆虫医科学部ホームページより
<http://www0.niid.go.jp/niid/entomology/pictures/albopictus/albopictus.html>

2. 一般的な予防方法

1) 蚊の発生防止対策

①幼虫対策

- 不要な水たまりをつくらない

屋外に放置された空き缶、バケツ、古タイヤ等は撤去、伏せる、雨の当たらない場所に置くなど不要な水たまりをなくしましょう。

- なくせない水たまりは、定期的に清掃、水の交換を行う

植木鉢の受け皿、ペットの水飲み容器、水生植物等の鉢などは定期的に水の交換を行いましょう。



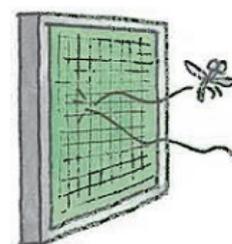
②成虫対策

- 蚊の侵入を防止する

窓に網戸を設置したり、玄関扉や窓の開閉は素早く行いましょう。また、蚊の産卵場所となる浄化槽や排水槽の通気管には防虫網を設置しましょう。

- 蚊の潜み場所を除去する

やぶや草むらの雑草を定期的に刈り取り、樹木は定期的に剪定し風通しをよくしましょう。



2) 服装や忌避剤の使用による防蚊対策

- 肌の露出を避ける

蚊の多い場所に行くときは刺されないように長袖シャツ、長ズボンなどを着用し肌を露出しないようにしましょう。また、裸足でのサンダル履きは避けましょう。

- 必要に応じて忌避剤を使用する

忌避剤は肌に塗って蚊の吸血行動を阻止する薬剤です。使用する際は使用上の注意を守り、過剰に塗布しないよう、また、外出を終えたら速やかに石鹸などを用いて洗い流すなど適切に使用しましょう。

3) その他の対策

- 日本脳炎ワクチンは定期接種ワクチンです。予防接種は忘れずに受けましょう。
- 黄熱が流行している地域に渡航する際には黄熱ワクチンの接種が推奨されています。尚、黄熱ワクチンは指定された施設以外では接種できません。
- 渡航者の蚊媒介感染症の感染防止と国内への持ち込み頻度を低減するために厚生労働省検疫所 FORTH (<http://www.forth.go.jp/index.html>) や外務省・大使館のホームページにある渡航先の感染症情報を確認し、防蚊対策など必要なものを準備してから渡航しましょう。

外来駐車場の運用変更のお知らせ

当センターでは、外来等リニューアルの一環として本館北側の第1駐車場を解体し、外来棟の建設工事を予定しております。これに伴い第1駐車場は閉鎖となり、駐車場のご利用は第2ゲートからの出入りのみとなりますので、予めお知らせいたします。

また、これに合わせて現在敷地西側に建設中の立体駐車場の使用を開始する予定であります。

駐車場の運用変更に伴い大変ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力の程よろしく願いいたします。

第1駐車場の閉鎖

9月頃を予定しています。



※工事進捗に伴い、実施時期が前後いたします。

脳ドック室からのお知らせ

● 脳ドックのご案内 — 脳疾患の早期発見、予防のために — ●

脳の健康診断「脳ドック」を受診しましょう

■ 当センターの脳ドックについて ■

当センターは、日本脳ドック学会により認定された脳ドック施設です。最新の『脳ドックガイドライン』に準拠し、脳ドック学会が推奨する検査内容で、精度の高い検診を実施しております。

■ 当センター脳ドックの特徴 ■

頭部のMR検査、頸部エコーに加えて、心電図や血液・尿検査なども受けていただける脳卒中予防に有効な検査項目となっています。

■ 費用と検査項目 ■

基本検査 1.5テスラMRコース 80,000円（消費税含む）

3.0テスラMRコース 100,000円（消費税含む）

検査項目 頭部MRI・MRA検査、頸部超音波検査、脳機能検査、
頸部・胸部レントゲン検査、心電図検査、血液・尿検査、
問診、身体測定（身長・体重・肥満度）、血圧測定、
神経学的検査、医師結果説明

検診日 毎週2回 火曜日・木曜日

■ お申込み・お問合せ ■

検診はすべて予約制です。

*受診のお申し込みの方は、下記担当までお電話いただくか、本館1階窓口へお越しください。

TEL 048-648-5155 直通（脳ドック担当）

本館1階 脳ドック受付カウンター（理容室前）

本館1階 総合受付脳ドックコーナー

受付時間／平日 8時30分～17時

*詳しい検査内容、ご不明な点等についてのご質問もお気軽にお問合せください。

表紙写真

山梨県
富士河口湖町にて

毎年、春のうららかな日ざしが降りそそぎ、若草の緑が日一日と濃くなる頃、富士山麓では世界遺産・富士山を約80万株の鮮やかな芝桜と共に眺められます。富士山麓の春の風物詩です。

撮影：一般・消化器外科 福井太郎さん

編集後記

季節はいつの間にか冬から春へと移り変わっています。

四季の中で春が一番好き、という方も多いのでは？

春以外の季節がお好きな方は、その季節が待ち遠しいですね！ (K)